株式会社日伝

NICHIDEN

2025年3月期　決算説明会

2025年５月22日（木）

証券コード
9902

代表取締役 社長執行役員　福家 利一

© 2025 NICHIDEN Corporation

目次

1. 連結決算ハイライト
2. 中期経営計画『New Dedication 2026』進捗
3. 2025年3月期　決算概要
4. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
5. 株主還元

© 2025 NICHIDEN Corporation

１．連結決算ハイライト

決算のポイント

25/3期 実績

- 売上高 134,771百万円（前期比＋6.2%）　で過去最高
- 営業利益　6,824百万円（前期比＋17.5%）で過去最高

業績予想

- 2026年3月期の業績予想は、売上高1,400億円（前期比3.9%増）
  営業利益67億円（前期比1.8%減）、当期純利益49億円（前期比0.2%増）
  を見込んでおります。

株主還元

- 25/3期は中間配当30円、期末配当45円、通期で75円の配当を株主総会に付議
  配当性向　45.6%
- 26/3期は中間配当35円、期末配当35円、通期で70円の配当を予定
  予想配当性向　42.2%

© 2025 NICHIDEN Corporation

2025年3月期　連結業績サマリー

- 2025年3月期の連結業績は、増収増益を達成
- 売上高、営業利益、経常利益がいずれも過去最高となった

売上高	134,771	百万円	前期比	+6.2%
営業利益	6,824	百万円	前期比	+17.5%
経常利益	7,200	百万円	前期比	+12.0%
当期純利益	4,892	百万円	前期比	+4.7%

© 2025 NICHIDEN Corporation

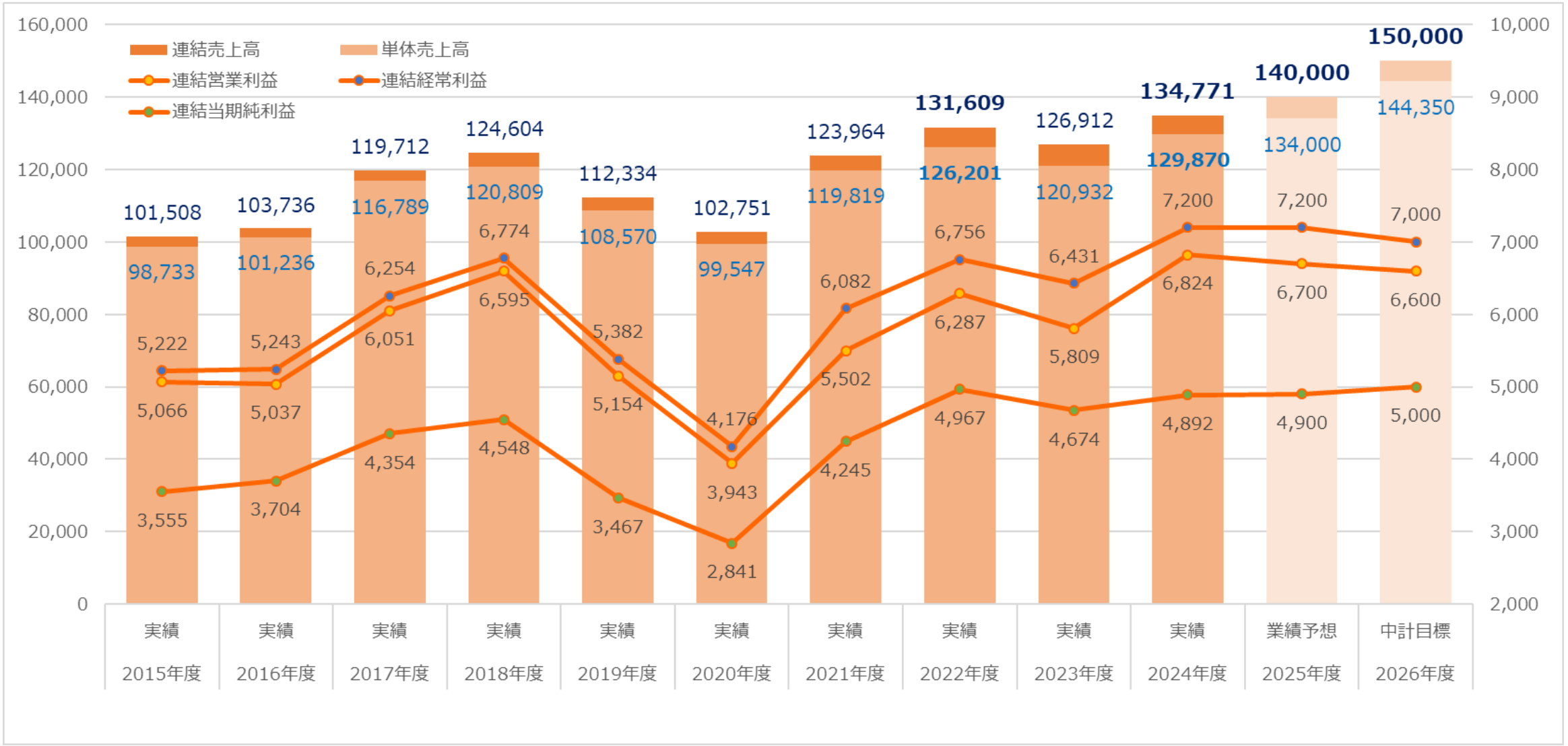
２．中期経営計画『New Dedication 2026』進捗

中期経営計画　業績推移（実績・目標）

	2024年度			2025年度					2026年度
	業績予想	実績	前期比	中計目標	業績予想	増加額	前期比	中計 目標比	中計目標
売上高	134,000	134,771	106.2%	140,000	140,000	0	103.9%	100.0%	150,000
営業利益	6,100	6,824	117.5%	5,800	6,700	900	98.2%	115.5%	6,600
経常利益	6,500	7,200	112.0%	6,200	7,200	1,000	100.0%	116.1%	7,000
当期純利益	4,700	4,892	104.7%	4,700	4,900	200	100.2%	104.3%	5,000

© 2025 NICHIDEN Corporation

中期経営計画　業績推移（実績・計画）



© 2025 NICHIDEN Corporation

市場環境

機械器具関連業界

1	設備投資の安定推移	中国向け輸出は減少。半導体製造装置を中心とした生産用機械の増産が設備投資を支える
2	省力化投資ニーズの増加	脱炭素、DX、人手不足への対応による旺盛な投資需要
3	EV電池関連事業の好調	電気自動車向け電池事業は、安定した成長を続けている
4	納入部品関連の変化	在庫調整の影響により、ピーク時から減少
5	関税影響の注視	自動車・鉄鋼関連業種がトランプ関税の影響を受ける可能性 今後の動向に注意が必要

© 2025 NICHIDEN Corporation

中期経営計画　スローガン・経営基本方針

『New Dedication 2026』

～ 新たな貢献へ ～

1. 将来にわたり「なくてはならない企業・日伝」を目指す
2. お取引先様とともに「モノづくりの仕組み・産業の基盤」を支える
3. 「挑戦すること」・「やりきること」に拘る企業風土をつくる

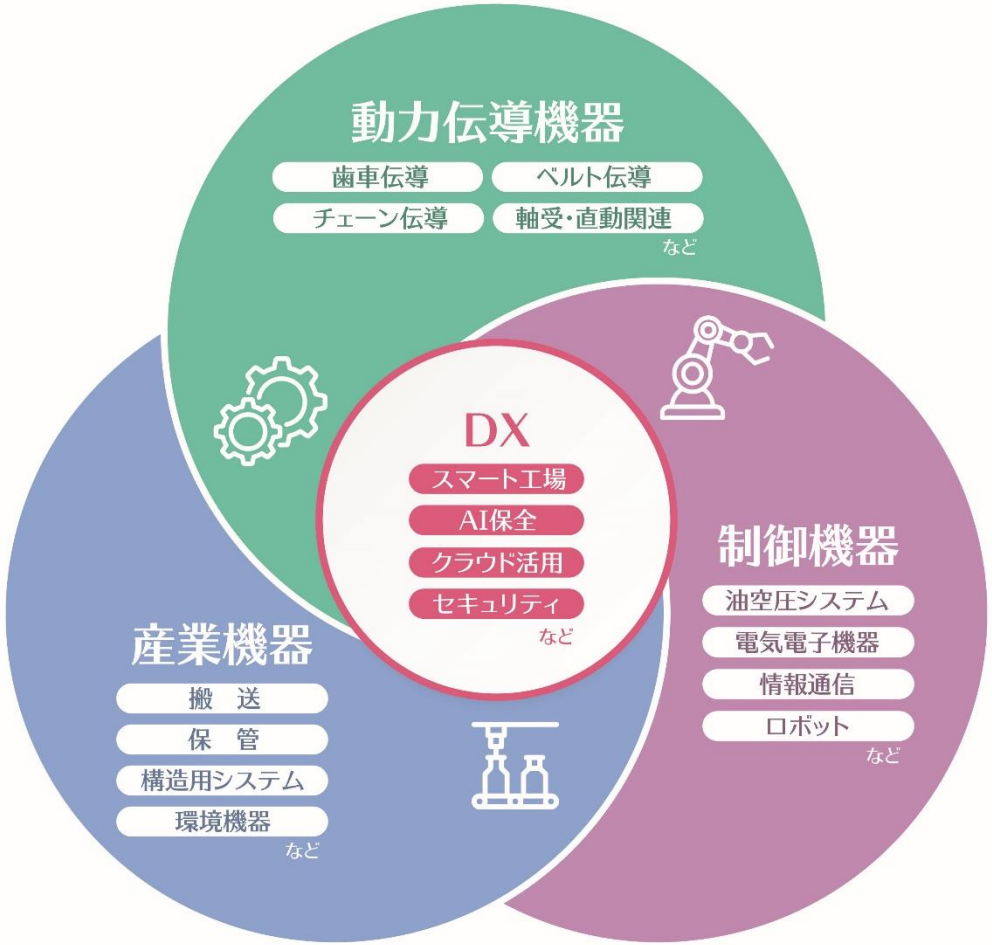
© 2025 NICHIDEN Corporation

中期経営計画　重点施策

© 2025 NICHIDEN Corporation

事業ポートフォリオの拡大

複雑化する課題を
最適な組み合わせによる製造業DXで解決



© 2025 NICHIDEN Corporation

2025年度注力DX（SaaS）サービス

注力DX（SaaS)サービス

株式会社アペルザ

NICHIDEN × apérza

2024年3月株式会社アペルザの株式取得

「アペルザDESK」

- FAXやメールを一括受信
- 担当者振分けを自動で処理
- AI-OCRで、手入力作業を大幅に効率化
- 担当者不在時も別担当が自在に補完処理
- 業務担当者の処理量や進捗が見える化
- データ保管・検索もすべてクラウド上で完結

受発注業務を大幅に効率化！
ミス削減・経費削減社員のストレス低減

株式会社テクノツリー

2025年 日伝はプラチナパートナーに昇格

「XC-Gate」

- 今まで紙で使用していた「日報」や「点検表」、「検査表」などの帳票を電子化
- タブレットやスマートフォン、ハンディターミナルなど各種端末からの入力が可能
- ペーパーレスを実現し、登録データは、データベース化して蓄積されるため、集計や分析が可能
- 省力化とコスト削減を同時に実現

入力データの集計や分析が可能
ペーパーレス化による省力化とコスト削減
現場成長を加速

© 2025 NICHIDEN Corporation

2025年度注力DX（SaaS）サービス

注力DX（SaaS)サービス

株式会社ユーザックシステム

日伝のEDIシステムに採用、大幅な業務削減に成功！

Autoジョブ名人・送り状名人

- 売上の拡大を目指し、取引が拡大すれば、業務量も増大業務に直結する「受発注業務」を自動化する「RPA」
- WebEDIにおいては、RPAシナリオを部品化して提供、導入翌日から自動化が可能
- 複数の運送会社の送り状を1つのシステムから発行、荷物問い合わせ番号の採番に対応し、社内や取引先に共有が可能

業務効率化を実現
運送会社の引取り時間前倒しにも有効

デジタルデータソリューション株式会社

官公庁と同等レベルのハッキング対策サービス

出口対策製品「DDH BOX」

- 一般的なセキュリティ対策ではサイバー攻撃を100%ブロックすることはできない
  - ⇒ 新種のマルウェアが、毎日120万も生まれている
  - ⇒ 感染を防ぐ「入口対策」は、新種のマルウェアには効かない
- 「攻撃を防ぐ」のではなく、「情報漏洩を防ぐ」ことに着目した「出口対策」サービス

官公庁と同等レベルの不正通信遮断
企業BCPとして重要なデータBCP構築

© 2025 NICHIDEN Corporation

ＤＸ実現のための製造プロセスのデジタル化をサポート

「Col**labo**ration」**(協働)** と 「**Labo**ratory」 **(開発・研究)**

「次世代のイノベーションを創造する場」
ソリューションの展示、実験・実証が出来る**体験型ショールーム**

© 2025 NICHIDEN Corporation

&N LABO produced by NICHIDEN TOKYO SITE・OSAKA EAST 1

NICHIDEN

&N LABO produced by NICHIDEN TOKYO SITE

システムからのトータル提案で“できる”を提供

ロボット、ロボットハンドや画像処理、コンベアなど実験機材を準備。実機検証ができる環境を見ながら、常駐する技術スタッフと製品からソフトの設定までご相談いただけます。
ディスカッションを通じて、様々な機器を取り入れたトータルでのシステム提案を行います。

&N LABO produced by NICHIDEN OSAKA EAST1

DXソリューションをトータルコーディネート

IoT技術で人、モノ、設備からデータを取得し、ＤＸ推進を促すソリューションを実際に見て操作できる体験型ショールーム。商社機能を活かし、トータルコーディネートで課題解決のヒントを提案します。

© 2025 NICHIDEN Corporation

&N LABO OSAKA EAST2・FACTORY

&N LABO OSAKA EAST2

最新のＡＧＶ／ＡＭＲを間近で体験

作業効率化に貢献するＡＧＶ／ＡＭＲの各メーカーの最新機種の動作体験や、トライアルテストも行えます。
市販の車体に留まらず、自社で開発したい方に向けてシステムやパーツの展示・解説やご相談を承ります。

ＡＧＶ/ＡＭＲの開発に必要な機器、ソフトを展示

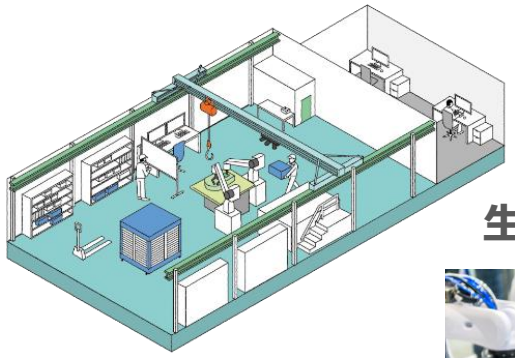
ラボゾーン

5社7機種のＡＧＶ/ＡＭＲを展示

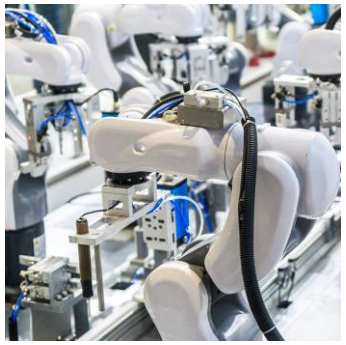
&N LABO OSAKA EAST2 FACTORY

生産設備の要素技術の検証･協業の場

生産設備の要素技術の検証の場として、ユーザー様、メーカー様、システムインテグレーター様との協創、インテグレーションの場を提供するとともに、CAD設計室も完備し、弊社独自の設計・制作の場としても機能いたします。

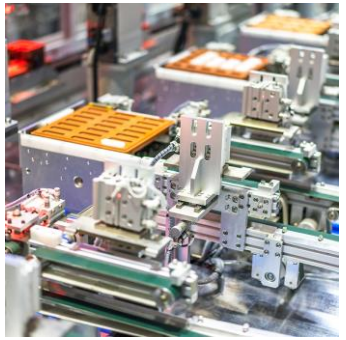


生産技術部門様



部品自動組立設備の新規開発

設備協業案件



自動化設備の新規開発

© 2025 NICHIDEN Corporation

&N LABO ビジョン

対面でこそ生まれる革新をここに。

&N LABO ACCESS

© 2025 NICHIDEN Corporation

事業開発部の取り組みについて

主なミッション

- **製品開発**
- **ブランディング**
- **R&D**
- **マーケティング**
- **開発連携**

© 2025 NICHIDEN Corporation

2025年度主要方針と施策

独自製品・連携製品

協働運搬ロボット
TugRos

独自製品

■作運搬作業を安全にサポート
知識がなくてもカンタン・安全導入で運搬作業を省力化
■操作はテザー1本のみ
■簡単導入
・導入時の設定、専用の設備やシステム不要
・ハンドルを持って歩くだけで簡単に導入
■作業負担軽減
・100kg載せても制動距離なく、ラクラク運搬
・TugRos同士をテザーで繋げば大量運搬も可能

次亜塩素酸水噴霧機
Elimina

独自製品

■独自開発の超音波ユニットを搭載した噴霧機、除菌効果と安全性に優れた専用次亜塩素酸水、多機能な生成機
■浮遊・付着するウイルスや菌をしっかりと「除去」し、安心安全な衛生環境を作る事が出来る

自律移動ロボット
KeiganALI

連携製品

■素早く簡単に使える
■障害物を自動で回避
■ラインレースにも対応

ラインレース対応による高精度な走行、レーザースキャナーと複数の障害物センサー搭載により、障害物の自動回避が可能
工場・物流・レストランなどの現場で省人化に貢献

© 2025 NICHIDEN Corporation

展示会出展予定

FOOMA JAPAN 2025
FOOD PROCESSING TECHNOLOGY EXPO
6/10(火)-6/13(金) 東京ビッグサイト 10:00-17:00

テーマ	展示デモ	製品／メーカー名
ロボット	ハンドリング提案	人協働ロボット／安川電機 各社ハンド＋ツールチェンジャ
搬送	シャッター連動の搬送	小型AMR／Keigan 運搬アシストロボット／日伝
	搬送体験	電動チェーンバランサ／キトー 運搬アシストロボット／日伝
見える化	エア監視	エアマネジメントシステム／SMC
	全体監視	SCADA／AVEVA
衛生	カビ対策	次亜塩素酸水噴霧機／空間洗浄Lab.

6月10日より開催される「FOOMA JAPAN 2025」に出展いたします。
ブースでは、自動化、DX、衛生対策に対して日伝ならではの組み合わせ提案をご紹介いたします。

© 2025 NICHIDEN Corporation

投資計画　広報活動

看板設置

東海道新幹線東京駅ホーム階段

掲出期間：4月１日～１年間
設置場所：18.19番ホーム
５号車付近

東海道新幹線新大阪駅改札内

掲出期間：4月2日～1年間
設置場所：JR在来線乗換口
付近

羽田空港第２ターミナル　地下１階ロビー

掲出期間：6月15日～1年間
設置場所：第2ターミナル
地下1階ロビー

デンデンデンデン

心揺さぶるこの拍動

モノづくり支えるその手に、熱き遺伝子　脈を打つ

© 2025 NICHIDEN Corporation

投資計画　広報活動（コンセプト）

日伝は、今日までお取引先と以心伝心で、信頼を深めてまいりました。
その歴史が礎となり、日本の産業を90年間支え続ける「伝統」となりました。
現場では、数々の技術が「伝承」され、息づく「知恵」と融合し、
“未来あるモノづくり”へと昇華していきます。
これまで、決して変わることのなかったもの、
それが、私たち日伝の遺伝子(DNA)＝“誠実”です。

“つくる人・つかう人の想いを繋ぎ、誠実にモノづくりの未来に貢献する”
これこそが日伝の使命であり、存在意義です。

「伝統を力に　技術を信頼に　誠実を未来へ」
これからも、日伝は誠実に日本のモノづくりに貢献してまいります。

© 2025 NICHIDEN Corporation

投資計画　設備投資

蓮田物流センター新設（2026年8月稼働予定）

連結子会社エヌピーエーシステム移転・併設
自家消費型太陽光発電システム、雨水再利用の自動潅水設備設置

敷地面積：6,877.67㎡/建築面積：3.297.62 ㎡/延床面積12,193.02㎡

熊本ロジス新設（2025年8月稼働予定）

自家消費型(余剰売電)太陽光発電システムに加え、半導体業界にも対応した簡易クリーンブースを設置

敷地面積：1,203.00㎡/建築面積：839.53 ㎡/延床面積964.47㎡

東大阪物流センター内に体験型展示施設 &N LABO 本格運用

生産工程のデジタル化、　【ＤＸ】×【自動化】としてモビリティロボティクスをテーマに、各種 AGV/AMR の運行、関連設備との連携について実際に体験できる施設

© 2025 NICHIDEN Corporation

サステナビリティ経営の取り組み

女性活躍・エンゲージメント

「男女いきいき事業者表彰」（大阪府）

大阪府では、性別に関わらず全ての人が持てる力を存分に発揮し、あらゆる分野で活躍できる元気な大阪を実現するため、女性活躍推進に積極的に取り組む事業者を表彰する、「男女いきいき事業者表彰」を実施

2025年1月9日　大阪府第７回「男女いきいき事業者表彰」

大賞受賞

えるぼし認定（厚生労働省）

一般事業主行動計画の策定・届出を行った企業のうち、女性の活躍推進に関する取組の実施状況が優良である等の一定の要件を満たした場合に認定

2025年2月5日　厚生労働大臣認証

えるぼし認定（第１段階）を取得

© 2025 NICHIDEN Corporation

日伝のサステナビリティについて

●当社は、持続可能な社会の実現と企業価値向上に向けて、サステナビリティに関する方針を定めています。各方針に則った、事業遂行を通じて多様な社会課題の解決に貢献し、企業価値向上に努めることで、あらゆるステークホルダーの期待にお応えしてまいります。

マルチステークホルダー方針	当社は、パーパスに「つくる人・つかう人の想いを繋ぎ、誠実にモノづくりの未来に貢献する」を掲げ、堅実経営のもと、株主様、従業員、取引先様をはじめ、多様なステークホルダーの皆様との信頼関係を築くことで企業価値の向上を図るため、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。 その上で、環境問題にも配慮しつつ、製造業全般の高度化、合理化、省力化、安全性の向上を通して皆様の期待に応え、生み出された利益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、高い社会的責任を果たすという観点から、株主様はもとより、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取り組みを進めてまいります。 １.従業員への還元　２.取引先への配慮
サステナブル調達ガイドライン	日伝グループは、メカニカルパーツ＆システムの専門総合商社として、持続可能な社会の実現に貢献するため、サプライチェーン全体での社会的責任を重視しております。本ガイドラインは、当社の調達活動における基本的な考え方と、お取引先様にご協力いただきたい事項をまとめたものです。お取引先様におかれましては、本ガイドラインの趣旨をご理解いただき、共に持続可能な社会の構築を目指していただきますようお願い申しあげます。
日伝のマテリアリティ	1 Environment（環境） 気候変動対策の取り組み 2 Social（社会） 多様な人財が成長・活躍できる環境づくり 3 Governance（ガバナンス） 透明性の高いガバナンス体制の構築 4 Business（ビジネス） 社会課題解決のためのものづくりへの新たな貢献

© 2025 NICHIDEN Corporation

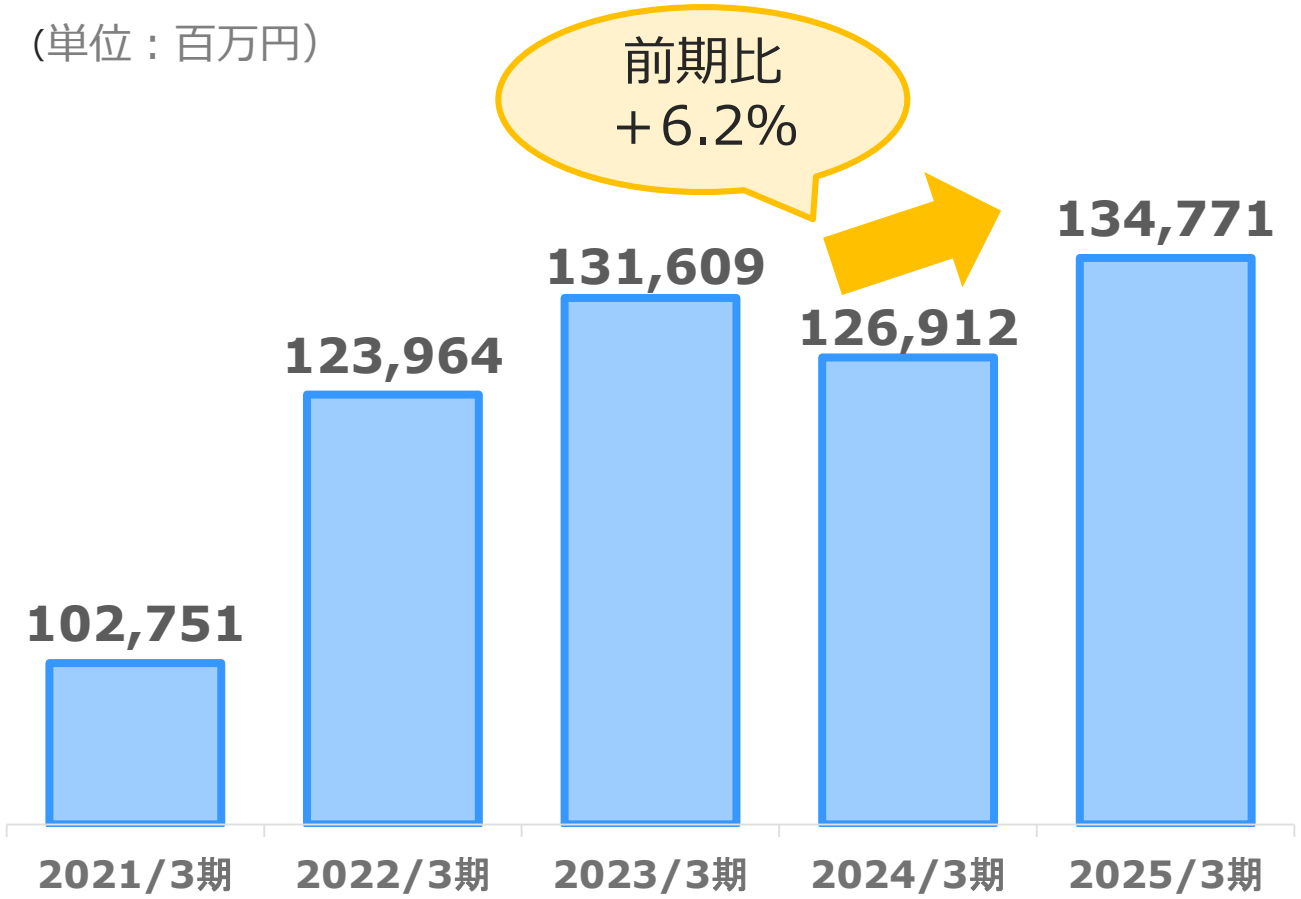
取締役 常務執行役員 管理本部長　寒川 睦志

© 2025 NICHIDEN Corporation

3．2025年３月期　決算概要

2025年3月期　売上高

(単位：百万円)



売上高　**134,771**百万円

前期比　**+6.2%**

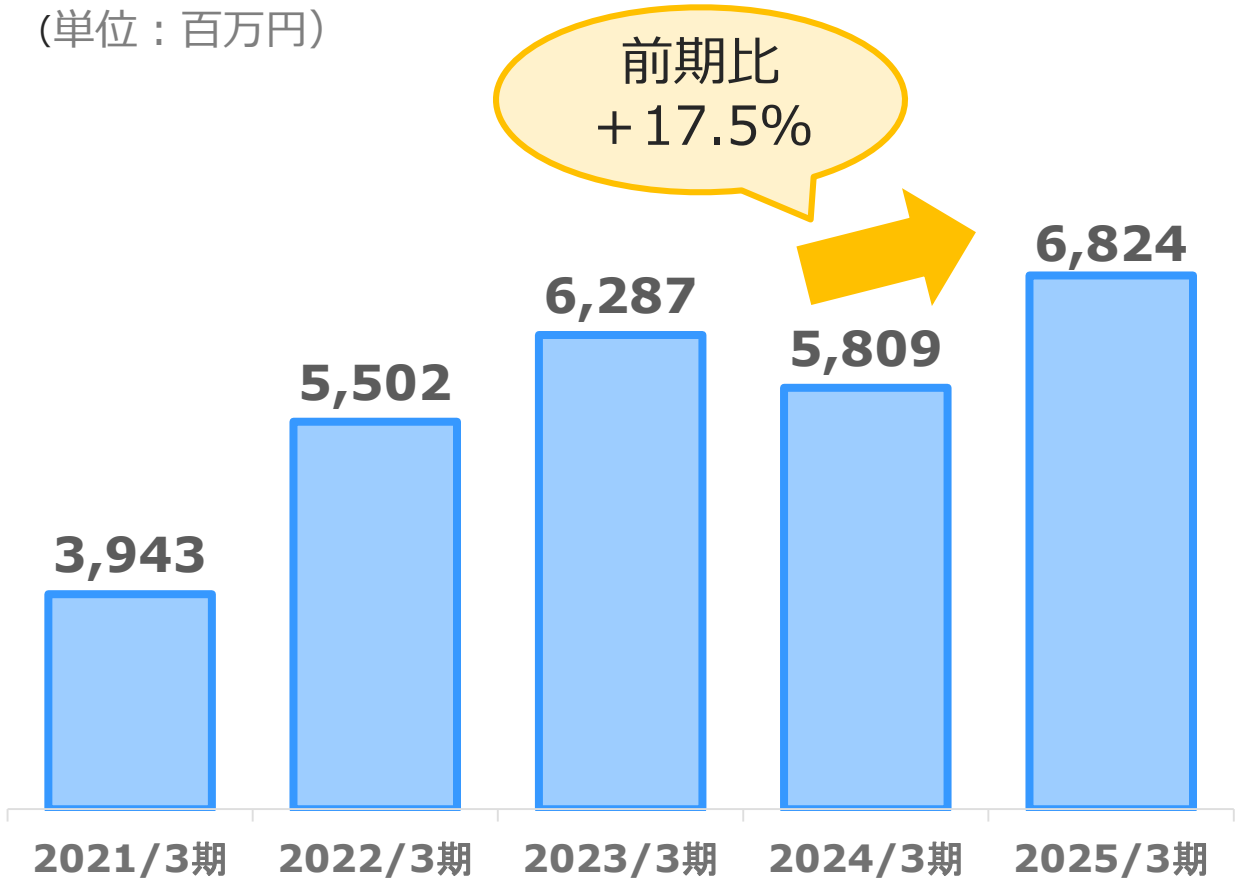
業績予想比**+0.6%**

過去最高

© 2025 NICHIDEN Corporation

2025年3月期　営業利益

(単位：百万円)



営業利益　**6,824**百万円

前期比　**＋17.5%**

業績予想比　**＋11.9%**

過去最高

© 2025 NICHIDEN Corporation

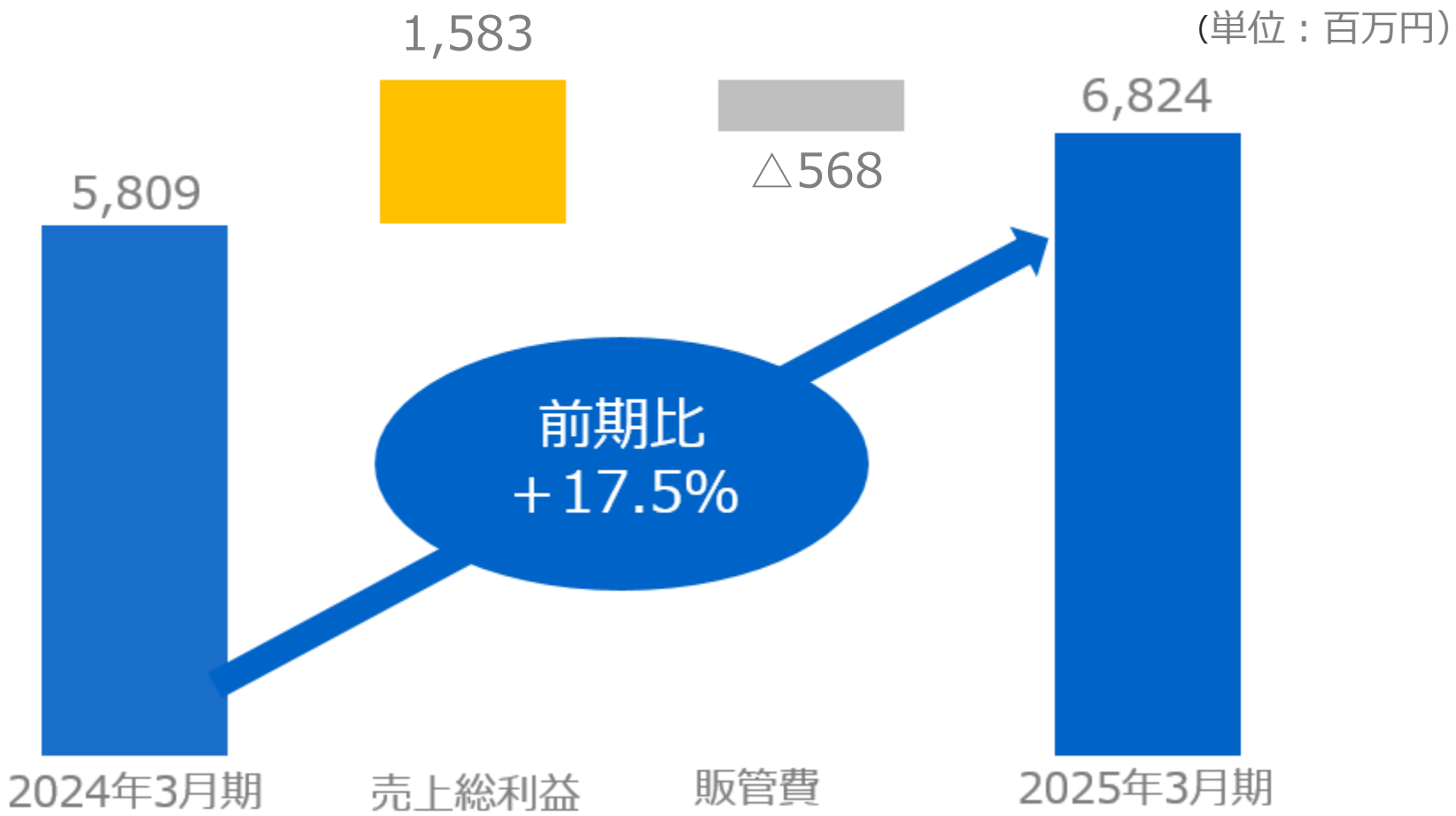
2025年3月期　連結業績　前年比

（単位：百万円）

	2024年3月期	2025年3月期	前期比	
			金額	増減率
売上高	126,912	134,771	+7,858	+6.2%
売上総利益	19,096	20,680	+1,583	+8.3%
販管費	13,286	13,855	+568	+4.3%
営業利益	5,809	6,824	+1,015	+17.5%
経常利益	6,431	7,200	+769	+12.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,674	4,892	+217	+4.7%

© 2025 NICHIDEN Corporation

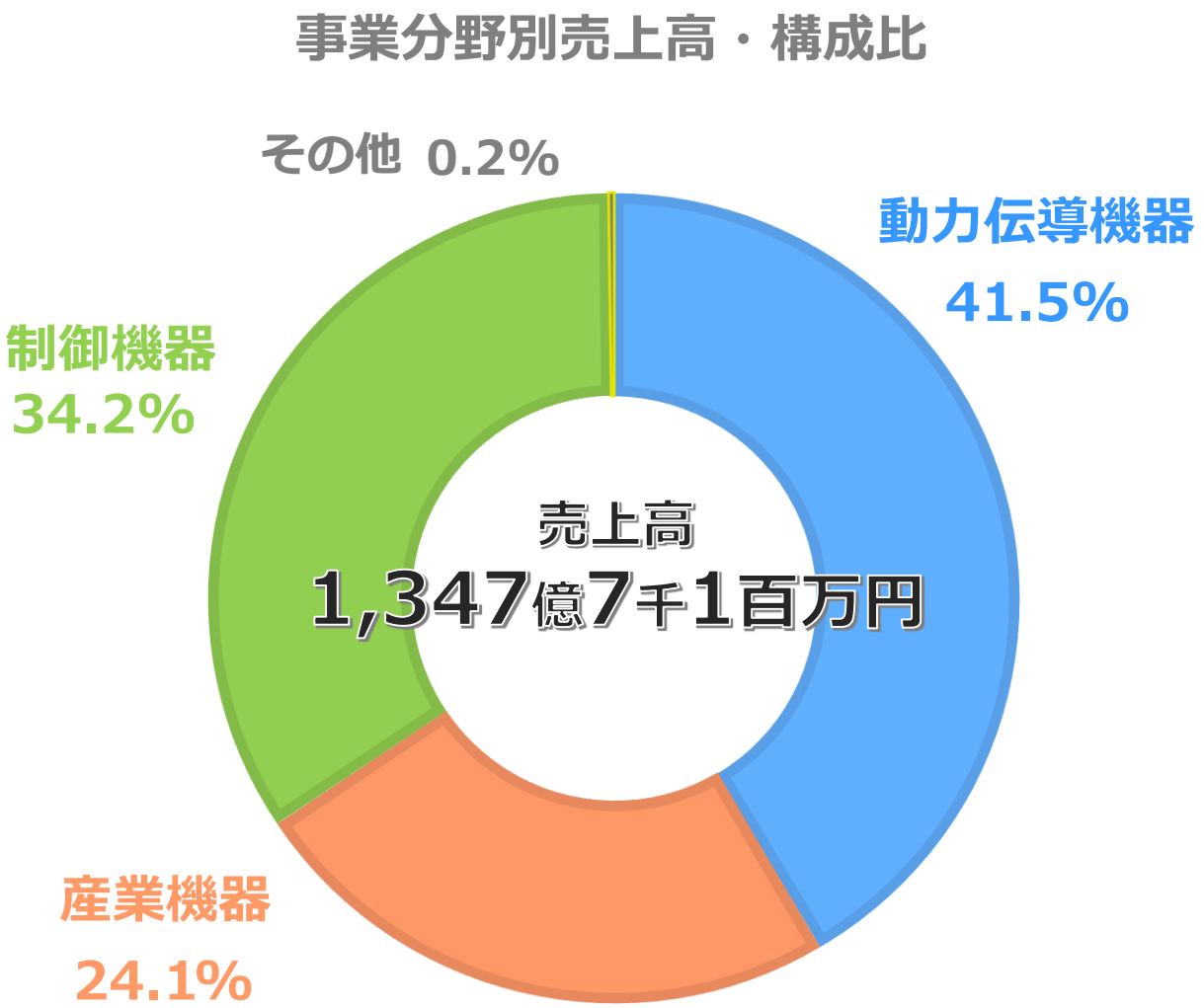
2025年3月期　営業利益増減分析



・売上高の増加および売上総利益率の改善（15.0%→15.3%）により売上総利益額の増加　1,583百万円
・人件費および一般経費の増加　568百万円

© 2025 NICHIDEN Corporation

事業分野別売上割合



売上高構成割合

	2024/3	**2025/3**
動力伝導機器	41.7%	41.5%
産業機器	23.5%	24.1%
制御機器	34.8%	34.2%
その他	—	0.2%

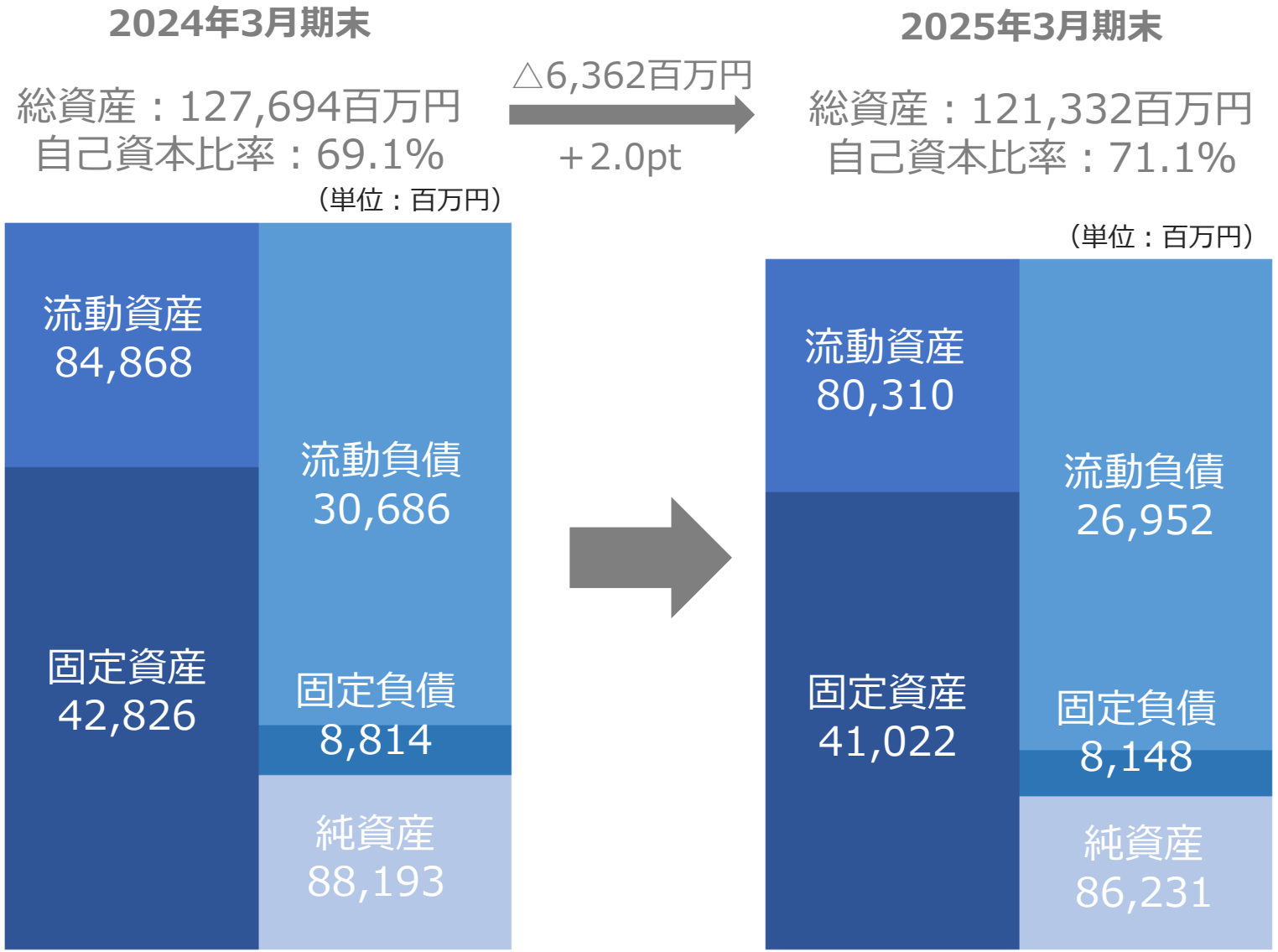
商品分野別売上高

（単位：百万円）

	2024/3	**2025/3**
動力伝導機器	53,014	55,862
産業機器	29,757	32,535
制御機器	44,140	46,084
その他	—	289
合　計	126,912	134,771

© 2025 NICHIDEN Corporation

連結業績　貸借対照表



© 2025 NICHIDEN Corporation

連結貸借対照表　資産の部

（単位：百万円）

		2024年3月期	2025年3月期	増減	主な増減理由・備考
流動資産	現金及び預金	15,042	15,557	514	
	受取手形、売掛金及び契約資産	21,224	21,932	708	
	電子記録債権	21,373	19,908	△1,465	
	有価証券	10,007	6,248	△3,759	譲渡性預金・債券など運用資産の減少
	商品及び製品	16,524	15,847	△677	
	貸倒引当金・その他	696	817	121	
	合計	84,868	80,310	△4,557	
固定資産	有形固定資産	19,554	20,771	1,216	蓮田物流センター、東大阪物流改修ほか
	無形固定資産	3,211	3,023	△188	
	投資その他の資産	20,059	17,227	△2,832	
	合計	42,826	41,022	△1,804	
資産合計		127,694	121,332	△6,361	

© 2025 NICHIDEN Corporation

連結貸借対照表　負債、純資産の部

（単位：百万円）

			2024年3月期	2025年3月期	増減	主な増減理由・備考
流動負債	支払手形及び買掛金		11,153	12,834	1,680	
	電子記録債務		15,676	10,222	△5,454	
	リース債務		358	390	31	
	未払法人税等		1,120	1,285	164	
	契約負債		320	443	122	
	賞与引当金		614	620	6	
	その他流動負債		1,442	1,155	△286	
	合計		30,686	26,952	△3,734	
固定負債合計			8,814	8,148	△665	
負債合計			39,501	35,101	△4,400	
純資産	株主資本	資本金	5,368	5,368	—	
		資本剰余金	6,283	6,283	—	
		利益剰余金	70,147	69,583	△564	
		自己株式	△1,015	△1,398	△382	
	株主資本合計		80,783	79,836	△946	
	その他包括利益累計額合計		7,410	6,394	△1,015	
	合計		88,193	86,231	△1,962	
負債純資産合計			127,694	121,332	△6,361	

© 2025 NICHIDEN Corporation

キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2024年3月期	2025年3月期	2025年3月期 キャッシュ・フローの主な増減要因
営業キャッシュ・フロー	5,023	4,471	・税金等調整前当期純利益の計上（7,222百万円） ・減価償却費（1,269百万円） ・売上債権の減少（921百万円）　仕入債務の減少（△3,873百万円） ・棚卸資産の減少（725百万円）
投資キャッシュ・フロー	△2,432	3,272	・有形固定資産の取得（△2,343百万円） ・定期預金・譲渡性預金の解約（3,074百万円） ・債券の償還など（3,064百万円）
フリーキャッシュ・フロー	2,591	7,743	
財務キャッシュ・フロー	△4,890	△6,320	・自己株式の取得（△3,063百万円） ・配当金の支払（△2,859百万円）
換算差額等	136	56	
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	353	―	
現金及び現金同等物の期首残高	15,368	13,557	
現金及び現金同等物の期末残高	13,557	15,037	

© 2025 NICHIDEN Corporation

2026年3月期　連結業績予想

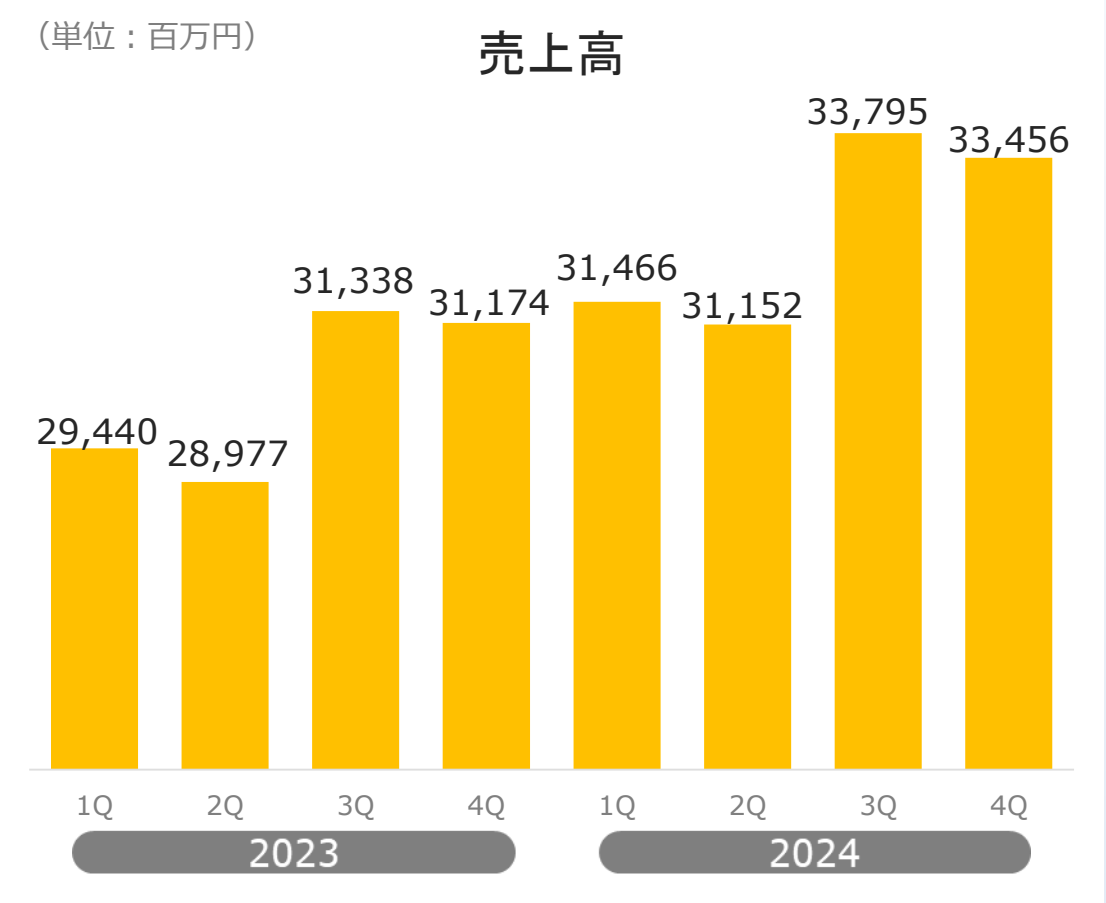
（単位：百万円）

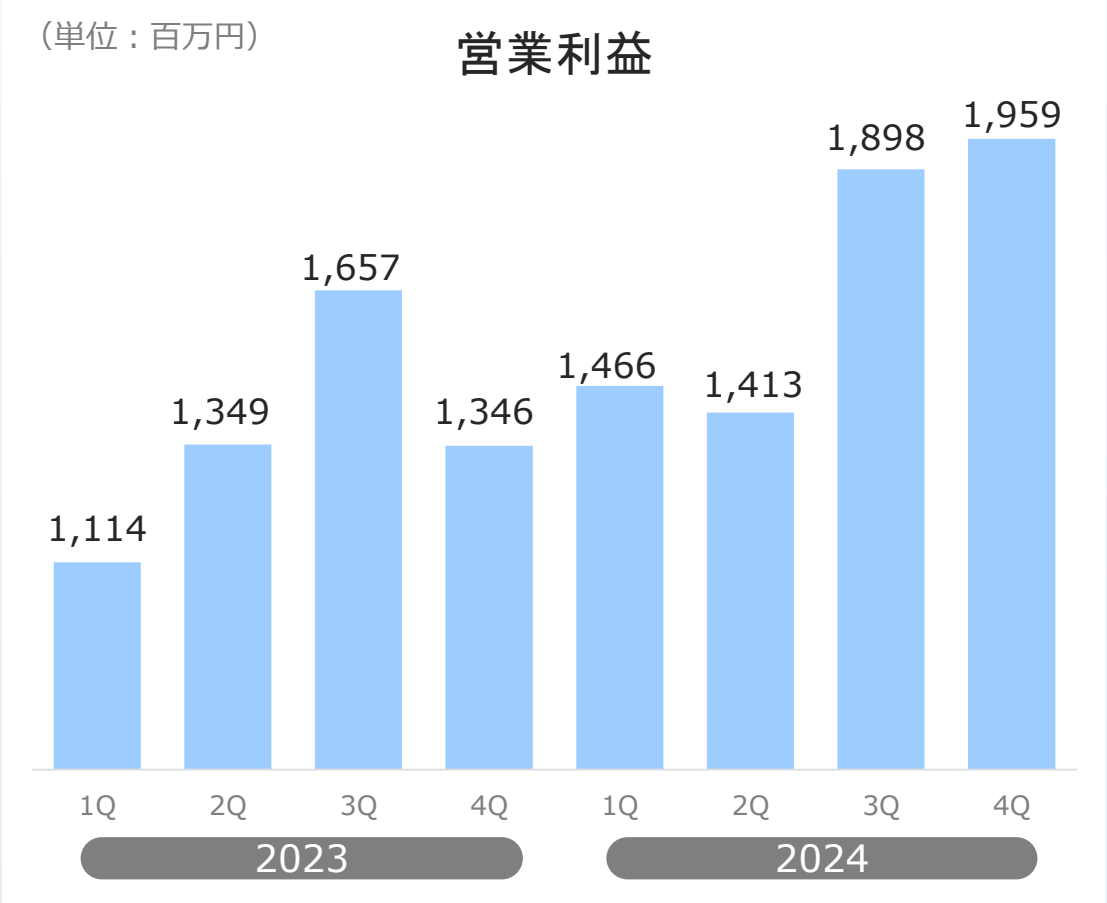
	2025年3月期（実績）	2026年3月期（予想）	前期比	
			金額	増減率
売上高	134,771	140,000	+5,229	+3.9%
営業利益	6,824	6,700	△124	△1.8%
経常利益	7,200	7,200	△0	△0.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,892	4,900	+8	+0.2%

・売上高は増加する一方で、人件費や一般経費の増加によって利益はほぼ前期並みを見込む

© 2025 NICHIDEN Corporation

2025年3月期　四半期別ハイライト（単体）





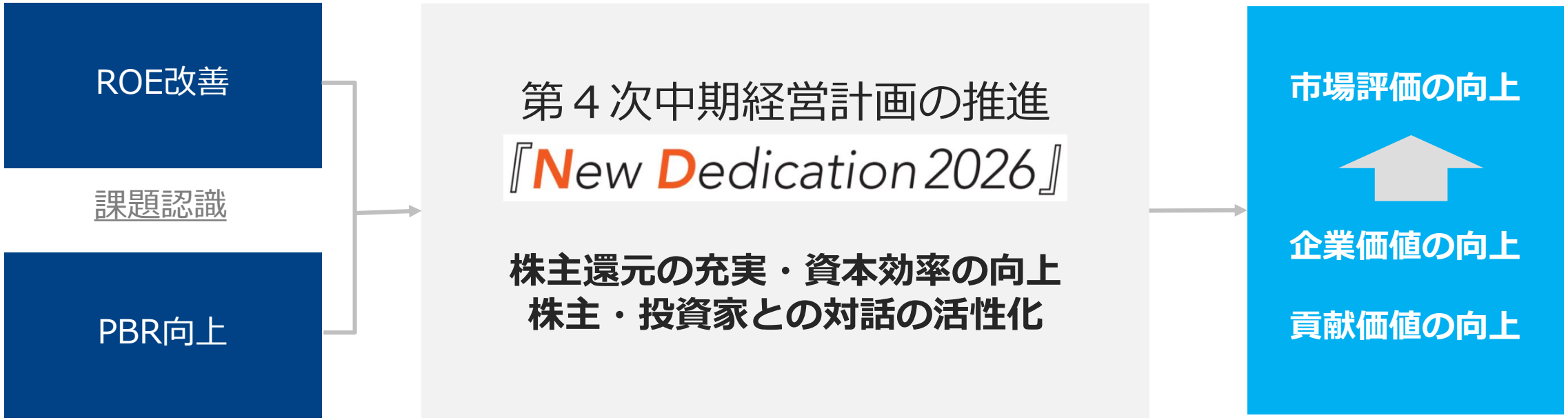
© 2025 NICHIDEN Corporation

4. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

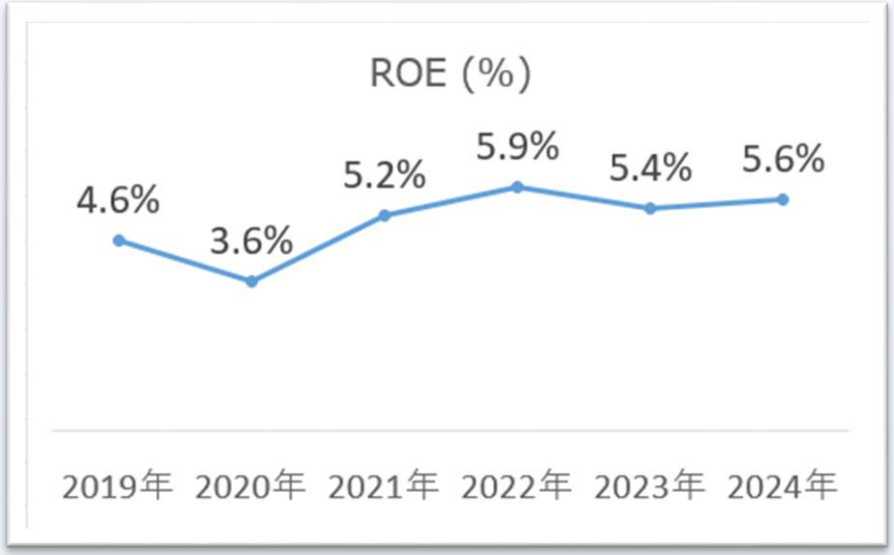
企業価値向上に向けた取り組み

ＲＯＥ・資本コストを意識したうえで、第４次中期経営計画での「市場戦略」「コーポレート戦略」に取り組むことで企業価値の向上に努めます。
また、機動的な利益還元を検討することや株主・投資家との多様な方法での対話・開示の充実を目指します。

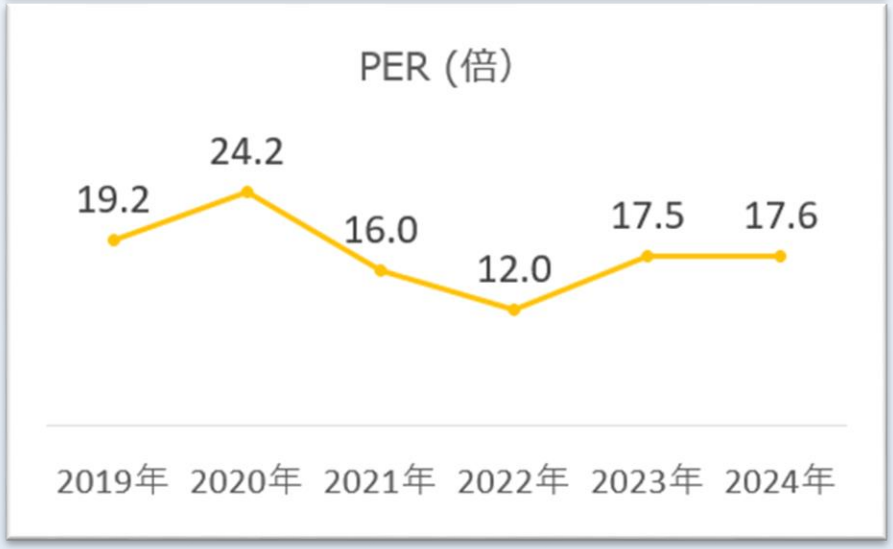


© 2025 NICHIDEN Corporation

現状分析（ＰＢＲ）



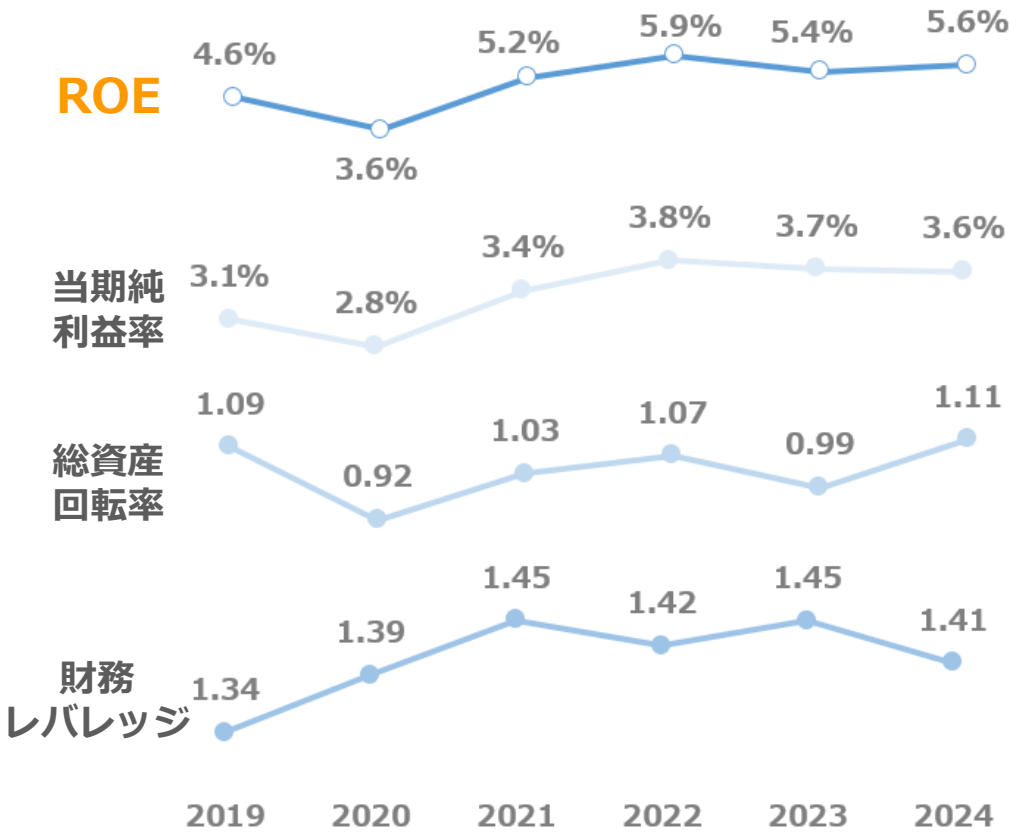
2025年３月末時点のＲＯＥは前期比0.２ポイント改善、ＰＥＲは市場平均（16.2倍）を上回った。
ＰＢＲ１倍は期中で上回っていた期間はあったものの、通期では安定的に１倍を超える株価推移ではなかった。



© 2025 NICHIDEN Corporation

現状分析（ＲＯＥ）

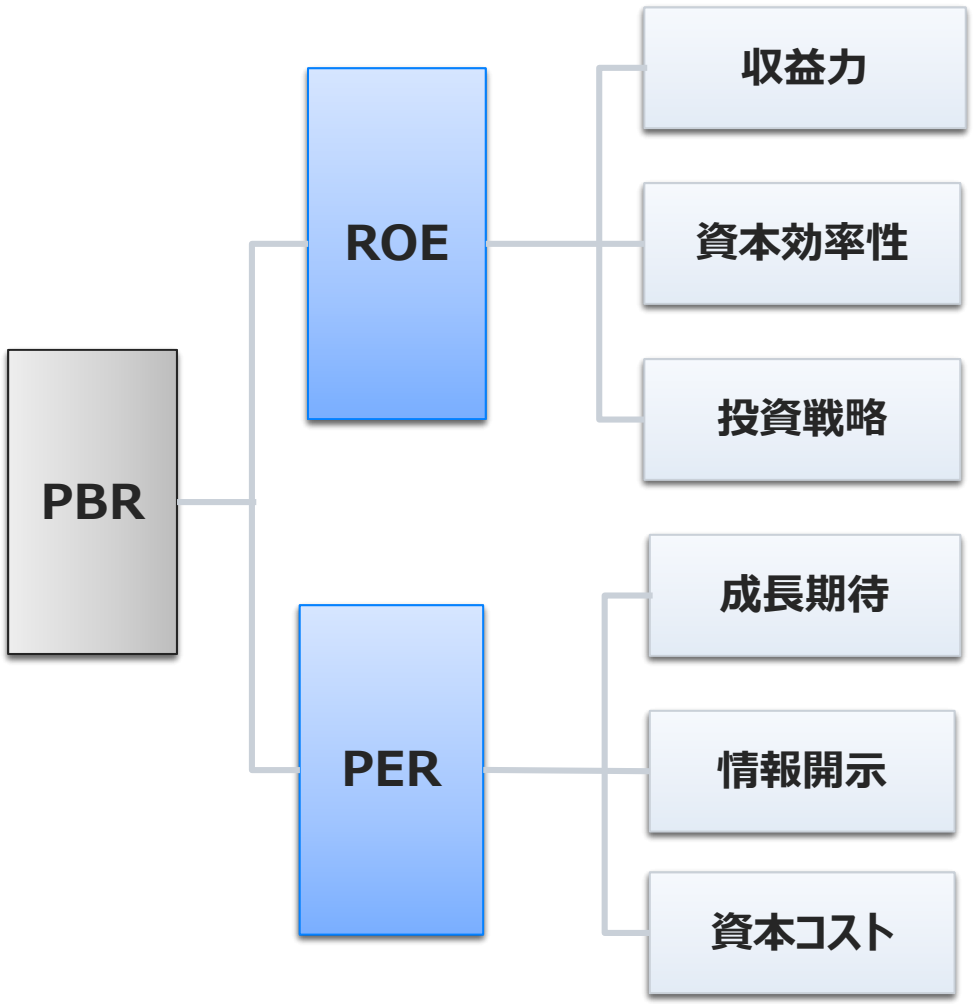
ROE		当期純利益率		総資産回転率		財務レバレッジ
5.6%	＝	3.6%	×	1.11回転	×	1.41倍



現状分析	
売上高 当期純利益率	2024年度の投資有価証券売却益が剥落し、利益率が低下した。
総資産回転率	売上高の増加に加え、自己株式の取得、仕入債務の減少などで数値が改善した。
財務レバレッジ	純資産の減少以上に総資産の減少が大きく、数値は低下した。

© 2025 NICHIDEN Corporation

今後の方針と主な対応策



『New Dedication 2026』今後の取組み内容

- ソリューションビジネス拡充
- ＤＸの社内推進による業務効率化
- 効率的な在庫管理・戦略的な在庫の充実
- 戦略的設備投資（蓮田物流センター・熊本ロジス・&N LABO produced by NICHIDEN ）
- apérza との協業
- 自社物流機能の提供価値を創出
- サステナビリティ情報の充実
- 必要に応じて機動的な自己株式取得の検討

© 2025 NICHIDEN Corporation

財務戦略（キャッシュアロケーション）

適切かつ機動的な資本政策の検討・投資の実行

①戦略的設備投資と在庫の拡充

②業績と自己資本の状況を勘案した
株主還元の充実

③必要に応じて機動的な自己株式取得の検討

© 2025 NICHIDEN Corporation

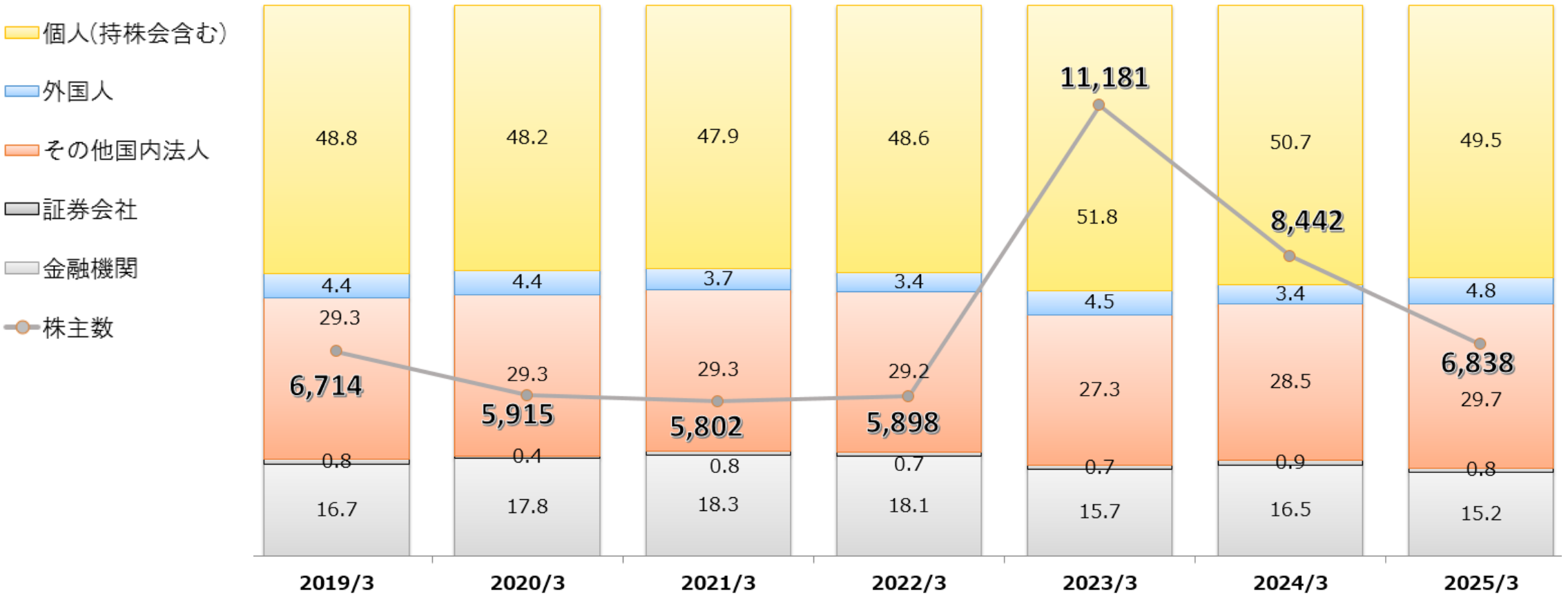
今後の取組み方針

自社物流機能の拡充	・ワンストップ機能など顧客が求める利便性や業務の効率化を実現 ・顧客とシステム連携を行ないタイムリーな商品供給体制を確立
株式会社アペルザとの協業	・情報発信、マーケティング機能の向上 ・ＤＸアプリケーション・コンテンツ、サービスによる企業のＤＸ導入促進と労働人口減少による課題解決の実現 ・当社グループの提供価値の向上、強化
投資家との対話の充実	機関投資家との個別面談や個人投資家向け会社説明会など、多様なステークホルダーとの対話の機会を増やす
情報開示の拡充	・財務情報や経営戦略、非財務情報のより充実した内容の開示 ⇒統合報告書の発刊やウェブサイトのリニューアル、サステナビリティ開示の充実、英文開示など、ステークホルダーの期待に応える情報開示の拡充

© 2025 NICHIDEN Corporation

5. 株主還元

株主数推移

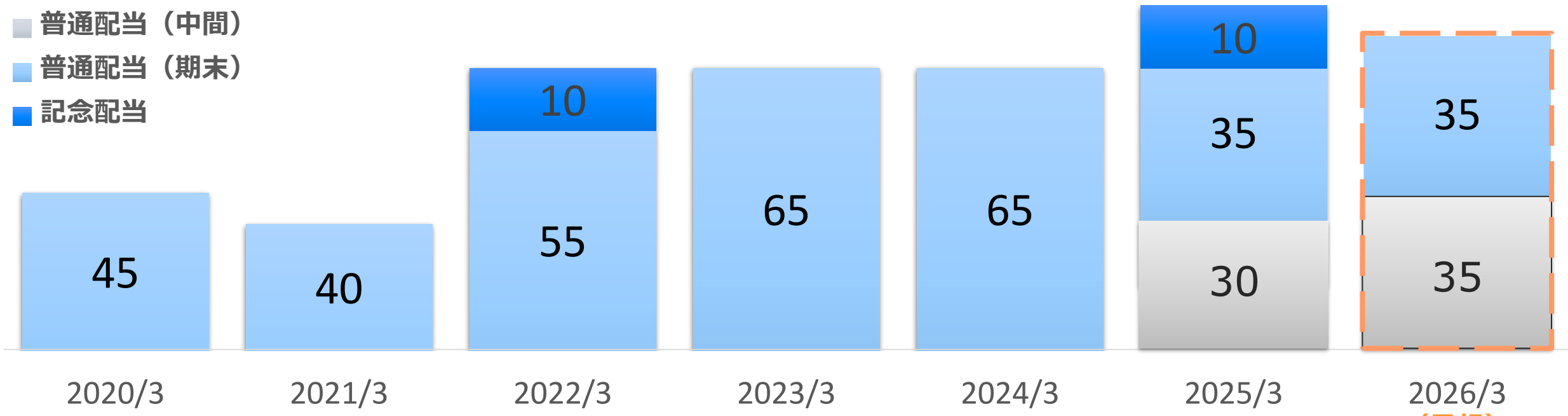


株主数	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3
（単位：人）	6,714	5,915	5,802	5,898	11,181	8,442	6,838

© 2025 NICHIDEN Corporation

株主還元

（単位：円）



年間配当金

45円	40円	65円	65円	65円	75円	70円

配当性向

40.8%	44.2%	48.1%	41.1%	42.8%	45.6%	42.2%

© 2025 NICHIDEN Corporation

株主優待制度

株主優待

3月31日基準（６月贈呈）※1年以上保有

100株以上1,000株未満
QUOカード2,000円

1,000株以上
QUOカード5,000円

9月30日基準（12月贈呈）

100株以上1,000株未満
さぬきうどん300g×３袋

1,000株以上
無洗米２kg詰め３パック

© 2025 NICHIDEN Corporation

NICHIDEN

当資料は、あくまで株式会社日伝をより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。
本説明会および参考資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な要素によりこれら見通しと異なる結果となり得ることをご了承ください。
また、本資料およびデータの無断転用はご遠慮ください。